



カケハシ・プロジェクト（招へいプログラム） （アメリカ、一般招へい高校生第2陣）の記録

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」として、米国より高校生100名が、7月12日～19日の7泊8日の日程で来日し、日本の政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策等などの対日理解促進を目的としたプログラムに参加しました。地方自治体訪問、企業訪問、学校交流、ホームステイ等を通じて幅広く日本を理解する機会を持ち、各々の関心事項や体験についてSNSを通じて对外発信を行いました。また、帰国前の報告会では訪日経験を活かした、帰国後のアクション・プラン（活動計画）についてグループ毎に発表しました。

【参加国・人数】

アメリカ 100名

【訪問地】

東京都（全員）、山口県（25名）、秋田県（25名）大阪府（25名）、愛知県（25名）

2. 日程

7月12日（火） 成田国際空港より入国

7月13日（水） 来日時オリエンテーション

【講義】外務省北米局「日本の外交政策」

都内にて江戸東京博物館・浅草視察

7月14日（木）～7月18日（月）

4つのグループに分かれ、グループAは山口県、グループBは秋田県、グループCは大阪府、グループDは愛知県を訪問

地方プログラム終了後、7月18日に東京へ移動

（1）グループA：ガリバー高校（マイアミ）：山口県

【地域産業】UBE i Plaza（宇部興産株式会社）

【自然・芸術】ときわ公園

【学校交流・ホームステイ】山口県立宇部高等学校

【自然】秋吉台・秋芳洞

(2) グループB：ロングビーチポリテクニク高校（L A）：秋田県

【表敬・地域概要講義】秋田県

【歴史・伝統文化】秋田市民俗芸能伝承館・金子邸

【歴史・伝統文化】なまはげ館・男鹿真山伝承館

【自然】寒風山展望台

【学校交流・ホームステイ】秋田県立秋田南高等学校

(3) グループC：アムンセン高校（シカゴ）：大阪府

【地域概要・見学】大阪市役所

【歴史・伝統文化】大阪城

【地域産業】ものづくりビジネスセンター大阪

【地域概要】東大阪市役所

【学校交流・ホームステイ】大阪府立布施高等学校

(4) グループD：ロバート・E・リー高校（サンアントニオ）：愛知県

【文化体験】白鳥庭園

【地域産業/最先端技術】あいちサービスロボット実用化支援センター

【学校交流・ホームステイ】名古屋大学教育学部附属中・高等学校

7月18日（月） 【最先端科学技術】日本科学未来館

報告会（訪日成果・帰国後の活動計画発表）

7月19日（火） 原宿・明治神宮視察（グループA、B、Dのみ）

成田国際空港より出国

3. プログラム記録写真

共通（都内）

	
7/18 報告会	7/19 原宿
Reporting Session	Harajuku

グループA：山口県



7/14【企業視察】UBE i Plaza

7/14【表敬】宇部市役所

【Company visit】 UBE i Plaza

【Courtesy Call】 UBE city hall



7/15【学校交流】宇部高校

7/16【ホームステイ】

【School exchange】Ube Senior High School

【Homestay】



7/17【自然体験】秋吉台&秋芳洞

7/17【ワークショップ】

【Nature experience】 Akiyoshidai & Akiyoshido

【Workshop】

グループB：秋田県

	
7/14【地域概要紹介】秋田県 【 Introduction of the Region 】 Akita Prefectural Government	7/14【文化体験】秋田市民俗芸能伝承館 【 Cultural Experience 】 Akita City Folklore and Performing Arts Center
	
7/15【文化体験】なまはげ館・男鹿真山伝承館 【 Cultural Experience 】 Namahage Museum and Oga Shinzan Folklore Museum	7/15【学校交流】秋田県立秋田南高等学校 【 School Exchange 】 Akita Prefectural Akita Minami High School
	
7/16【ホームステイ】(秋田市) 【 Homestay 】 (Akita City)	7/17【ホームステイ歓送会】(秋田市) 【 Homestay 】 Farewell Party with Host Family

グループC：大阪府

	
7/14【地域概要】大阪府役所	7/14【視察】大阪城
【Introduction of the Region】Osaka City Hall	【Observation】Osaka Castle
	
7/15【視察】ものづくりビジネスセンター大阪	7/15【学校交流】大阪府立布施高等学校
【 Observation 】 Monodzukuri Business Information-center Osaka	【School Exchange】Osaka Prefectural Fuse Senior High School
	
7/17【ホームステイ歓送会】	7/17【ワークショップ】
Farewell Party with Host Family	Workshop

グループD：愛知県

	
7/14【地域概要紹介】愛知県庁概要講義 【Introduction of the Region】Lecture Aichi Prefectural Government Office	7/14【文化体験】白鳥庭園 【Cultural Experience】Shirotori Garden
	
7/14【最先端技術】あいちサービスロボット 実用化支援センター 【Cutting-Edge Technology】Aichi Service Robot Practical Application Center	7/15【学校交流】名古屋大学教育学部附属中 学校・高等学校 【School Exchange】Nagoya University Affiliated Upper and Lower Secondary Schools
	
7/16【ホームステイ】 【Homestay】	7/17【ホームステイ】歓送会 【Homestay】Farewell Party with Host Family

4. 参加者の感想

◆ アメリカ 高校生

日本の外交についての講義は見聞を広めるものだったと感じました。日本の学校はシカゴの学校とは大変異なりますが、アメリカよりも日本の授業の方が好きです。日本の学生が家庭科、縫い物、書道などの授業で学ぶ様子が印象に残りました。また校内は大変静かでシカゴの校内とは大変違う点だと思います。日本の家庭で驚いたことは洗濯物を外で乾かし、トイレがお風呂と別れていることです。また、日本人はマナーが良く、他の人に心配りがあり、すっかり日本の社会が好きになってしまいました。大阪滞在は部分的にシカゴと同じ要素もありますが、よい意味で異なることが発見でき大変楽しかったです。

◆ アメリカ 高校生

愛知サービスロボット実用化支援センターに展示されていた独創的なロボットに感心しました。日本の多くの企業が、新しい生き方を提案するために革新的な商品(ロボット)を開発して、多くの人々の生活を支えています。技術の力で、人々を助けることができ、世界が良くなっていることを学びました。

◆ アメリカ 高校生

日本の歴史と外交政策について講義を受けて学べたのが大変楽しかったです。今私は、日本との外交関係や将来もよい関係を保持できるかどうかに関心を持っています。

◆ アメリカ 高校生

日本の外交政策や国内政策を学ぶことができ、興味深く感じました。外務省職員直々にお話を聞いたことが非常によかったと思います。学校交流では授業に参加できればなおよかったと感じました。

5. 受入れ側の感想

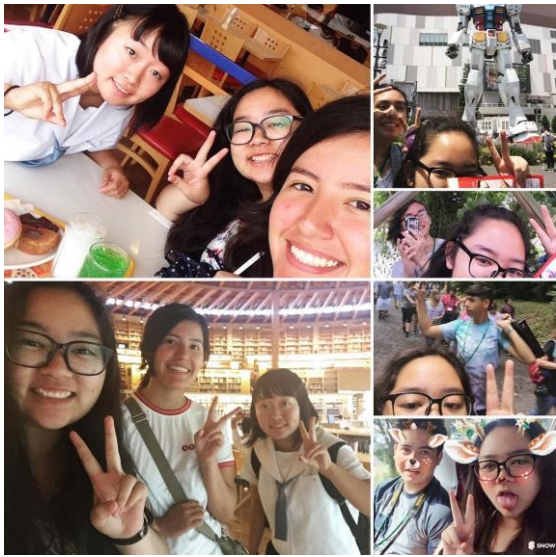
◆ 学校交流先高校生

今回の交流期間、私は二人のアメリカ人の女の子と浴衣を着て花火をしたり、お好み焼きを食べたりと様々なことをしました。中でも心に残ったのは、二人の日本語を覚え使おうとする積極性です。何か新しい日本語を知ると、上手に真似して発音しスマートフォンを取り出して書き込んでいました。その学ぶ姿勢に驚きました。また、私もアメリカの若者の間でつかわれているスラングを二人から教えてもらいました。お互いに覚えた単語を実際に会話でつかって、上手く意味に合った使い方ができたら褒め合うというのが楽しかったです。今でも連絡先を交換し、やりとりを続けています。今回のプロジェクトを通じ、私は忘れられない思い出と国境を越えた友情を手に入れることができました。また、自分の英語で相手に十分伝わるのが分かり、英語力に自信ができました。本当にこのプロジェクトに参加できて良かったです。

◆ ホストファミリー

とても有意義な楽しい時間を過ごすことが出来ました。初めてのホストファミリーで、どうしたら喜んでもらえるか、楽しんでもらえるか考えてばかりでしたが、とても2人とも気さくな方で、一緒に過ごすうちに普段どおりにすることが一番お互いによいものと分かりました。また何かにつけて、2人とも「ありがとう」とお礼を言ってもらえたことが何より嬉しかったです。私達も感謝の気持ちを大切にしなければいけないと感じました。短い時間でしたが、引き受けさせて頂きよかったと思います。娘にはとてもよい経験になり、貴重な思い出になりました。本当にありがとうございました。

6. 参加者の対外発信

	
ピースサインの発信(インスタグラム)	名古屋大学教育学部附属中・高等学校の発信
Peace Sign in Japan (Instagram)	Nagoya University Affiliated Upper and Lower Secondary Schools

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

Action Plan (Social Media, Print, Video) We will produce a magazine that will help us share our experience in Japan with our school community as well as with our new Japanese friends. We plan on sending copies of this magazine to Ube High School. The magazine will include the following topics: - Japanese Technology and Eco-Friendliness - The Mixture of Japanese Tradition and Modernity - Japanese Kindness and Welcome - Similarities and Differences in Fashion	Specific Actions 1. Create Committee to plan for the Fuse Students 2. Create workshop for Amundsen students 3. Write articles for social media about our experiences in Japan 4. Presentation for the Local School Council, Elementary school, and incoming freshmen.
---	--

日本で学んだ事を含んだマガジンを作成し、それによって発信。コピーを宇部高校へ送る。	アムンセン高校の為にワークショップを作成。SNSに記事をアップロード。1年生や小学校に対し発表。
Japanese language students wear face masks for one day to provoke questions about the Japanese practice of wearing them	Participants will share their experience through local radio and papers. Promotion of Japanese culture and relations by sharing details of the Japanese Program and chance to travel.